

令和2年8月19日

病院職員新型コロナウイルス感染者の発生について（第1報）

神戸朝日病院

院長 金秀基

8月16日（日）に当院の職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。当院においては、職員に関しては勤務中常時マスクを着用し、感染対策を徹底しており、神戸市保健所の調査においても、濃厚接触者となる職員、患者様はおられませんでした。当該職員の感染を踏まえ、この職員と院内外で接触のあった職員について、18日、PCR検査を実施したところ、職員2名の陽性が確認されました。

保健所の指導に基づき、万全を期すために当院では、本日19日（水）に、濃厚接触ではないが、接触があったと思われるもの52名にPCR検査を実施いたします。

感染経路につきましては、保健所の調査において、院内感染ではなく、市中感染であると判断しております。

今後の対応につきましては、PCR検査等の結果も踏まえ、引き続き保健所の調査に協力しながら、万全を期する所存です。

現在の当院としての対応

8月18日午後、神戸市保健所との協議に基づいて下記の対応を行っています。

○当該病棟の入退院の中止（接触者PCR検査の結果による方針決定まで）

○8月27日までの健康観察（患者様・職員）

今後の経過につきましては、院内に掲示するとともに、当院のホームページで随時お知らせいたします。

皆さまにはご心配をおかけいたするとともに、多大なご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

今後も保健所の指導に基づき、引き続き細心の注意を払い診療機能を継続させて参りますので、何卒よろしく願いいたします。